

地方創生推進交付金事業 評価・検証シート 【平成 29 年度実施分】

《内部評価》（100 点満点） 個別項目についてそれぞれ評価しています。

	評価項目	A (13 点)	B (9 点)	C (5 点)	D (1 点)
有効性 (26 点)	KPI 達成への貢献度	最も効果的である	概ね効果的である	やや効果的ではない	効果を見込めない
	総合戦略への貢献度				

	評価項目	A (14 点)	B (10 点)	C (6 点)	D (1 点)
有効性 (14 点)	期待した効果の達成度	最も有効的である	概ね有効的である	やや有効的ではない	有効的ではない

	評価項目	A (10 点)	B (6 点)	C (3 点)	D (1 点)
効率性 (30 点)	コスト効率	最も効率的である	概ね効率的である	やや効率的ではない	効率的ではない
	手段の最適性	最適の方法である	概ね適切である	やや適切ではない	適切ではない
	受益者負担は適切か	最適の方法である	概ね適切である	やや適切ではない	適切ではない
持続性 (30 点)	必要な体制は整っているか	大いに認められる	概ね認められる	やや認められない	全く認められない
	必要な技術はあるか	大いに認められる	概ね認められる	やや認められない	全く認められない
	必要な財源の見通し	大いに認められる	概ね認められる	やや認められない	全く認められない

《総合評価》 個別項目の合計点により、総合評価をしています。

	得点率	得点	目安となる考え方
A	80%以上	80 点以上	計画通りの実施が適当
B	79～50%	79 点～50 点	一部見直しで足りる程度
C	49～20%	49 点～20 点	見直すべき項目がある
D	19%以下	19 点以下	事業の統合、廃止等の検討が必要

伝統の食と農でつなぐ人と地域にやさしいまちづくり


平成 29 年度事業額：40,500,000 円（総事業費：98,500,000 円）
 交付金充当額(補助率 1/2)：20,250,000 円（総交付額：49,250,000 円）
 評価対象期間：平成 29 年度（事業実施期間：平成 28 年度～平成 30 年度）

《事業の概要》

本事業では、津島市に訪れる人を郷土料理でもてなすことができるよう、地元の農作物を使った商品開発や、レストランを開設するなどの起業化を図ります。


- ・使用する農作物は、消費する場に近い市街化区域内の農地に開設する「農縁」で生産したものを始め、地元で生産されたものを中心に利用する。
- ・伝統の食と農で人をつなぐ農場「農縁」の運営は、開催するセミナー等で農業生産に関心を持った人、団体で組織したグループ等によって自主運営を行う。
- ・担い手養成のため、農業生産のノウハウを学べる農業塾を開設する。

《事業の進捗状況》※主な事業を記載




《食セミナーの開催（みんなパタ食セミナー）》

- ・10月～3月にかけて「食育コース」、「食のおしごとコース」、「レシピづくりコース」の3コースをそれぞれ10回ずつ開催した。
- ・「食のおしごとコース」、「レシピづくりコース」では、30年度の開業を予定する飲食施設の担い手の発掘及び提供するメニューの検討を行った。



《農縁塾の運営（みんなパタ農縁塾）》

- ・津島市宇治町の畑において年間を通じて開催した。申込があった20組に対して区画を割り振り、毎週土曜日に実技指導を行う。
- ・体験型の各種ワークショップを開催したほか、11月には大収穫祭を開催し、多くの人に参加した。



《飲食・加工施設の整備》

- ・地元食材を加工・飲食できる施設を開業するため、津島市天王通りにある空き家の改修を行った。今後、開業準備を行い、30年度中に開業する予定。
- ・運営は「みんなパタ食セミナー」の修了生などによって行うことを予定している。

イメージ図

その他事業について

	事業名	概要
1	農縁の整備	市街化区域内の農地を有効活用するため、農縁として整備する。生産した農作物は開業する飲食加工施設に供給することを想定。
2		
3		

《KPI の状況》

	指標名	基準値 (現状値)	中間 目標値		最終 目標値	累計	中間目標値の実施状況 に関する評価
		H28. 8	H29. 3	H30. 3	H31. 3		
指標 1	事業への参加者数 (人)	0	20 (増加分)	50 (増加分)	150 (増加分)	-	2 年とも目標値を大幅 に上回ることができ た。
	実績値		137	293	-	-	

《成果》※事業の進捗状況と KPI を踏まえて記載

若干のスケジュールの遅れはあったが、おおむね当初の計画通りに事業を進めることができた。「みんなパタ食セミナー」では、意欲的な参加者が多く、KPI の目標値の達成に寄与することができた。

《事業の課題》※事業の進捗状況と KPI を踏まえて記載

「みんなパタ食セミナー」において、飲食・加工施設を運営する担い手の発掘を行ったが、詳細な運営体制の確立までには至らなかった。30 年度の早い時期に体制づくりを行い、31 年度以降の自立運営を視野に入れた円滑な運営を行う必要がある。

《内部評価》

	評価項目	評価	評価について	総合評価
有効性 (40 点)	KPI 達成への貢献度	A	KPI は目標値を大幅に上回っており、一定の効果は出ていると思われる。今後は他の事業との連携等、相乗効果が得られるよう努める必要がある。	B
	総合戦略への貢献度	B		
	期待した効果の達成度	B		
効率性 (30 点)	コスト効率	B	農縁塾では自立運営を見据え、会費を徴収して運営することができている。これまでの事業実施により、効率的な事業運営が求められる。	
	手段の最適性	B		
	受益者負担は適切か	B		
持続性 (30 点)	必要な体制は整っているか	B	今後も継続して事業を実施するため、農縁塾以外でも確実な収入を得られる仕組み作りが必要である。	
	必要な技術はあるか	B		
	必要な財源の見通し	B		

《今後の展開》

引き続き農縁塾を開設するとともに、食セミナーを開催し、事業の担い手となる人材の掘り起しを行う。また、29 年度に整備した飲食加工施設を開業し運営を行う。30 年度の事業実施にあたっては、当初の想定よりも効率的な運営を行うことで、経費削減を行う。なお、30 年度が計画の最終年度となるため、31 年度以降の自立運営を見据えて事業を展開する。

寺院と町家を活用した滞在型観光による 地域再生プロジェクト

平成 29 年度事業額：32,500,000 円（総事業費(見込み)：48,440,000 円）
交付金充当額(補助率 1/2)：16,250,000 円（総交付額(見込み)：24,220,000 円）
評価対象期間：平成 29 年度（事業実施期間：平成 28 年度～平成 30 年度）

《事業の概要》

【現状・課題】

- ・本市は、毛織物業で繁栄したが、毛織物業の衰退に伴い、祭以外の時は賑わいがなくなってきている。
- ・また、津島駅西地域はお寺も多く、観光資源が豊富であるが、宿泊施設がなく、観光客の滞在時間が短い。
- ・加えて、空き家が多く、天王通り周辺は約 20%が空き家である。

【目的】

- ・空き家を改修して宿泊施設を造り、観光客の滞在時間を延ばす。
- ・また、お寺で坐禅体験等をできるようにして、観光客が祭以外の時でも楽しめる要素を増やす。
- ・こうして、祭以外の時も東京・大阪等の大都市圏、海外から観光客を増やし、まちに賑わいを取戻す。

《事業の進捗状況》※主な事業を記載



《① 2次モニタリング事業》

- ・ 3軒の空き家を改修して、宿泊施設を整備。
- ・ 12ヶ寺で、坐禅・写経等の 12 の体験プログラムを実施。
- ・ 9月 29日(金)～12月 10日(日)の金・土・日・祝日・祝前日に「町家泊・お寺体験」として実施。



《② 滞在サポートサービス組織化及び運営団体立ち上げ事業》

- ・ (一社)にぎわい創出機構 OSHI(おし)が、4月に天王通り 6丁目に事務所を開設。1月に天王通り 1丁目の宿泊施設内に事務所を移転。
- ・ 宿泊施設の受付を津島市老人クラブ連合会、清掃を津島市シルバー人材センターへ依頼して宿泊施設を運営。



《③ 試行事業》

- ・ 2月 1日に旅館業法第 2 条第 2 項(簡易宿所営業)の許可を取得。
- ・ プレオープンとして、3月 9日(金)、10日(土)、16日(金)、17日(土)、23日(金)、24日(土)の 6日間宿泊施設を開設。

その他事業について

	事業名	概要
1		
2		
3		

≪KPI の状況≫

	指標名	基準値 (現状値)	中間 目標値		最終 目標値	累計	中間目標値の実施状況 に関する評価
		H28. 11	H29. 3	H30. 3	H31. 3		
指標 1	滞在型交流数 (人)	0	100 (増加分)	1,000 (増加分)	5,000 (増加分)	6,100	目標値を下回った。
	実績値		88	638	-	726	
指標 2	空家等利活用件数 (軒)	0	1 (増加分)	4 (増加分)	0 (増加分)	5	目標値をやや下回った。
	実績値		1	3	-	4	

≪成果≫ ※事業の進捗状況と KPI を踏まえて記載

・東京、大阪を含む 15 都府県から 2 次モニタリング事業、試行事業に参加してもらうことが出来た。
 ・中国、韓国、台湾、アメリカを含む 15 ヶ国の日本在住外国人に 2 次モニタリング事業に参加してもらうことが出来た。
 ・広報 PR の中心がちらし・ポスターの配布で、インターネットを活用した広報 PR が不足していたことから、試行事業では、土曜日に比べて金曜日の宿泊者が非常に少なく、海外からの宿泊者もいなかった。

≪事業の課題≫ ※事業の進捗状況と KPI を踏まえて記載

・平日、日曜日の宿泊者を増加させること、海外からの宿泊者を増加させることが課題。
 ・本事業で開設するような安宿への宿泊申込は、ブッキングドットコム等の宿泊施設の予約専用サイトからの申込が非常に多いので、専用サイトへの掲載を中心に広報 PR を行っていくことにより、効率的・効果的な広報 PR が出来る。

≪内部評価≫

	評価項目	評価	評価について	総合評価
有効性 (40 点)	KPI 達成への貢献度	C	新聞掲載が 8 回、テレビ放映が 5 回あり、本市のイメージ UP、空き家の利活用への貢献度は高い。	B
	総合戦略への貢献度	A		
	期待した効果の達成度	C		
効率性 (30 点)	コスト効率	B	ちらし・ポスター中心の周知・募集から、実績払いの宿泊予約サイト中心の周知・募集への移行が必要。	
	手段の最適性	B		
	受益者負担は適切か	A		
持続性 (30 点)	必要な体制は整っているか	A	宿泊者との交流が口コミの高評価・リピーターに繋がるので、宿の運営者が積極的に交流を図ることが必要。	
	必要な技術はあるか	C		
	必要な財源の見通し	C		

≪今後の展開≫

・平成 30 年度は、旅行会社と観光ツアーを企画・運営し、国内のみならず海外へも津島の観光を PR することで、祭以外の観光客も増やす。
 ・また、積極的に宿泊者と交流を図ることで、口コミの高評価、リピーターの確保、宿泊者の SNS による発信に繋げ、平日・日曜日の宿泊者及び海外からの宿泊者を増加させる。
 ・こうして、平成 31 年度から(一社)にぎわい創出機構 OSHI が宿泊施設を自立経営出来るようにする。

担当部局： 市長公室 / 担当課： シティプロモーション課

みんなで支えあうコミュニティリノベーション事業

平成 29 年度事業額：24,800,000 円（予定総事業費(見込み)：33,612,400 円)

交付金充当額(補助率 1/2)：12,400,000 円（予定総交付額(見込み)：16,806,200 円)

評価対象期間：平成 29 年度（事業実施期間：平成 28 年度～平成 30 年度）

《事業の概要》

核家族の増加、生活スタイルの変化等により、地域の人々の絆や結びつきが弱まることで、住民同士の関係が希薄となり、地域のことを地域で解決する共同管理の仕組み「地域コミュニティ」の衰退が顕著になってきています。本事業では、地域に住む高齢者から子どもまでの多様な世代の人が気軽に集い、交流できる場である「縁側カフェ」を設置、地域住民が運営することで、顔と顔の見える関係を築き、「地域コミュニティ」の再活性化を図ります。

- ・地域の担い手を育成するとともに、地域で共同管理する仕組みを再構築し、スモールビジネス化することで持続可能なものとする。
- ・コミュニティの再活性化と合わせて、空き家等の老朽化による地域住民の不安解消にも繋げる。

《事業の進捗状況》※主な事業を記載



《市民による利用方法の検討》

- ・モデル地区において、想定される利用者を対象としたワークショップをそれぞれ月 1 回程度開催し、縁側カフェモデルの利用方法に関する掘り起こしを行う。



《縁側カフェモデルの整備》

- ・借り受けた建物をモデル施設として活用するため、改修及び清掃等を行う。



《縁側カフェモデルの運営》

- ・モデルとなる「縁側カフェ」を開放し、利用者の受け入れを行う。
- ・利用者自身が利用方法を定めることで、オリジナルな施設とする。
- ・多くの地域住民が集まる仕掛けづくりやプロモーションを行う。

その他事業について

	事業名	概要
1	縁側カフェモデル設置場所の選定	縁側カフェモデル施設を生み出すため、モデル地区の中から活用する空き家を選定し、借り受ける。
2	モデル地区における課題調査のためのアンケート	モデル地区において、周辺住民に対してアンケートを実施し、相互扶助や課題解決の方法を検討する。
3	担い手育成研修の実施	地域における担い手育成のため、専門家による研修を行う。
4	主体形成のためのワークショップによる利用方法の検討	モデル地区において、運営主体を形成するためのワークショップを対象階層毎にそれぞれ月 1 回程度開催する。

≪KPI の状況≫

	指標名	基準値 (現状値)	中間 目標値		最終 目標値	累計	中間目標値の実施状況 に関する評価
		H28. 11	H29. 3	H30. 3	H31. 3		
指標 1	交流施設の利用者数 (人)	0	0 (増加分)	100 (増加分)	100 (増加分)	200	目標値を超える実績値 となり多大な効果をも たらした。
	実績値		0	145	-		

≪成果≫ ※事業の進捗状況と KPI を踏まえて記載

当初の予定より早く自主運営組織による運営を行うことができた。また、イベントなどを行うことにより、地域への周知が図られ、より多くの方に交流施設を利用していただくことができた。

≪事業の課題≫ ※事業の進捗状況と KPI を踏まえて記載

今年度の事業であるモデル施設の運営は、当初の予定より順調に進めることができた。今後、市内全域への展開に向けて、モデル施設の成功の要因を分析し、他の地域へ波及させることが必要である。

≪内部評価≫

	評価項目	評価	評価について	総合評価
有効性 (40点)	KPI 達成への貢献度	A	ワークショップの段階から地域の方に参画していただくことで、地域の実情に合った施設を設置することができた。結果、目標を上回る多くの方に交流施設を活用していただき、新たな交流が生まれた。	B
	総合戦略への貢献度	B		
	期待した効果の達成度	A		
効率性 (30点)	コスト効率	B	現在は一部試験的に実施しているが、今後も自主運営組織において検討を行う。	
	手段の最適性	B		
	受益者負担は適切か	B		
持続性 (30点)	必要な体制は整っているか	B	体制や技術等は概ね整っているが、スキルアップを図る必要がある。財源については、スモールビジネス化され、安定した収益が得られる見込みである。	
	必要な技術はあるか	B		
	必要な財源の見通し	A		

≪今後の展開≫

モデル施設の検証・改善を行いながら、市内全域への展開に向けて検討を行う。

担当部局： 市民生活部 / 担当課： 市民協働課

みんなで発見・発信・おもてなし！

津島 “にぎわい” 創出プロジェクト

平成 29 年度事業額：16,000,000 円（総事業費(見込み)：46,000,000 円)

交付金充当額(補助率 1/2)：8,000,000 円（総交付額(見込み)：23,000,000 円)

評価対象期間：平成 29 年度（事業実施期間：平成 29 年度～平成 31 年度）

＜事業の概要＞

- ・本市の魅力的な歴史・文化を活用して、地域住民と協働で回遊・発信・おもてなしをする環境づくりを推進し、“にぎわい”を創出することが最重要の課題である。
- ・そのために、参加者を募集して津島の魅力ある地域資源を回遊できる「まち歩きツアー」、映像の制作を通じて市の魅力づくりや情報発信の手法を学ぶ「映像づくりワークショップ」、来訪者に対する接遇を学び、積極的におもてなしに取り組む「津島おもてなしコンシェルジュ育成講座」等を実施する。
- ・上記事業の実施を通して、津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる「稼げるまち」、「住んでみたいまち・住み続けたいまち」「若者・女性が活躍できるまち」への課題・問題の解決を図る。

＜事業の進捗状況＞※主な事業を記載



《まち歩きツアーの開催》 所管：シティプロモーション課

9月下旬～11月下旬の土日の計20日間に市内店舗、寺社等をツアーに組み込んだ、食事付きで有料の「まち歩きツアー」を実施した。ガイドボランティア・おもてなしコンシェルジュがガイド・おもてなしをした。参加者に対して、食事の価格帯ニーズ等に関するアンケートの実施・検証を行った。（参加者：5,000円プラン12名、2,000円プラン100名）



《映像づくりワークショップの開催》 所管：シティプロモーション課

市の魅力向上、発信力がある人材の確保・育成をするため、映像を活用した、市の魅力づくりや情報発信の基礎を学ぶ「映像づくりワークショップ」等を開催した。完成した短編映画2編は上映会等にて公開した。（参加者17名）



《津島おもてなしコンシェルジュ育成講座の開催》 所管：産業振興課

多くの市民、来訪者に対して、おもてなしができる人材を育成するため、周知用のチラシを作成・配布して広く受講者を公募し、歴史・文化に関する講座、おもてなし・接遇に関する講座等を開催した。合格者には認定証を授与した。（認定者24名）

その他事業について

	事業名	概要
1	リアルご当地検定の実施 VRの制作	市内の地域資源に関する検定問題を解いて巡ることができるアプリを制作した。また、尾張津島天王祭、秋まつりのVRを制作した。
2	津島詣マップ等の作成	市外の地域資源も含めた広域観光マップを作成・配布した。
3	津島OSHI、津島おもてなしステーションの募集・登録	情報発信する人及びおもてなしをする既存店舗を募集・登録をした。
4	短編小説コンテストの開催	津島を舞台とした短編小説を募集し、受賞作品集の冊子配布等を行った。

≪KPI の状況≫

	指標名	基準値 (現状値)	中間 目標値		最終 目標値	累計	中間目標値の実施状況 に関する評価
		H29. 4	H30. 3	H31. 3	H32. 3		
指標 1 指標 4	「まち歩きツアー」と「リアルご当地検定」の合計参加者数(人)	320	600 (増加分)	1,500 (増加分)	3,600 (増加分)	5,700	目標値を大幅に達成できなかった。参加周知を強化しつつ、効率的な事業体制を構築する必要がある。
	実績値		189	-	-		
指標 2	「映像づくりワークショップ」参加者数と「津島おもてなしコンシェルジュ」認定者数の合計者数(人)	89	70 (増加分)	81 (増加分)	120 (増加分)	271	地域の情報発信を担う人材が一定数存在しており、今後も獲得できると思われる。
	実績値		41	-	-		
指標 3	「津島 OSHI」と「おもてなしステーション」の合計登録者(箇所)数(人・箇所)	176	105 (増加分)	120 (増加分)	159 (増加分)	384	「津島 OSHI」の登録者数が十分でなかった。積極的に登録周知をする必要がある。
	実績値		22	-	-		

≪成果≫ ※事業の進捗状況と KPI を踏まえて記載

まち歩きツアーは特にガイド付きで寺社や町並みを巡ることができたことは参加者から好評であった。また、ツアーガイドなど地元関係者の協力を受ける体制を円滑に築くことができた。その他の事業についても、参加して楽しかったと参加者の満足度が高く、また事業の運営体制も築くことができた。ただ、周知が効果的でなかったため、十分な参加者数を確保できず目標値である K P I を達成できなかった。

≪事業の課題≫ ※事業の進捗状況と KPI を踏まえて記載

主要行事での P R や大学・市民活動団体などにターゲットを絞った P R が十分にできなかったことが、K P I を達成できなかった主な要因だと考えられる。

≪内部評価≫

	評価項目	評価	評価について	総合評価
有効性 (40点)	KPI 達成への貢献度	C	参加者の満足度等は高く、また積極的なおもてなし人材等が存在しており、成果を達成する環境・基盤は整っている。	B
	総合戦略への貢献度	B		
	期待した効果の達成度	C		
効率性 (30点)	コスト効率	B	複数の新規事業があり効率的な仕組み・スケジュールが十分に構築できなかったが、初年度には適切で十分な運営であったと思われる。	
	手段の最適性	C		
	受益者負担は適切か	B		
持続性 (30点)	必要な体制は整っているか	C	事業運営(事務局)のスキルアップ、関係団体との調整は必要であると思われる。広告収入などの他の収入源も確保すべき。	
	必要な技術はあるか	B		
	必要な財源の見通し	B		

≪今後の展開≫

周知を重点的にするよう事業を実施していく。また、参加者のニーズに沿った事業コンテンツが提示・改良できるよう事業体制を構築する。それにより K P I を達成することができ、地元店舗等の活性化、情報発信・おもてなしの人材確保を目指していく。

担当部局： 市長公室 / 担当課： シティプロモーション課

天王信仰の総本社「津島神社」への参道を核とした 門前町再生事業

平成 29 年度事業額：9,952,200 円（総事業費（見込み）：33,952,200 円）
 交付金充当額（補助率 1/2）：4,976,100 円（総交付額（見込み）：16,976,100 円）
 評価対象期間：平成 29 年度（事業実施期間：平成 29 年度～平成 31 年度）

＜事業の概要＞

名鉄津島駅から津島神社までの「天王通り」は、かつては通りの両側に商店が軒を連ね、津島神社までのメインストリートとして多くの人が行き交う活気にあふれた大通りでしたが、現在は空き店舗が増加しシャッター街化が進行しており、地域の活力が失われています。本事業では、「天王通り」を津島神社への参道と見立て、門前町の再生からまちの賑わいを創出します。

- ・天王通りの空き店舗への出店を促進するため、物件リストを作成し、出店希望者とのマッチングを行うシステムを構築する。
- ・店舗にて体験型の商業プログラムのシステム開発及びサイトを立ち上げ、試行する。
- ・天王通り沿いの活用方法について、全国から提案されたアイデアを参考に地域ワークショップを行うことで、商店街の機運を高めるとともに、将来の方向性を検討する。

＜事業の進捗状況＞※主な事業を記載



＜マッチングシステム構築事業＞ 所管：産業振興課

市内の空き家や空き店舗の所有者と出店希望者を結びつけ、出店を促進するためのマッチングシステムを構築した。天王通りや本町周辺の空き家、空き店舗の物件リスト作成、空き家見学会開催（全 7 回・見学会参加者 60 人）、物件をホームページ上で閲覧するためのシステムを作成した。



＜体験プログラム開発事業＞ 所管：産業振興課

年間を通し観光客の増加を図るために、市内 17 の店舗や施設において、「津島の味」、「モノづくり」、「歴史・文化」が体験できる体験プログラムを平成 29 年 11 月から開始した。専用ホームページ「津島まちなかナビ」を構築し、プログラムの紹介や申込み受付を行った（参加者 197 人）。



＜まちづくり提案募集及びタウンミーティング開催事業＞ 所管：都市計画課

津島駅から津島神社までの約 1 km の『天王通り』におけるまちづくりのアイデアを全国から集め、優秀作品を選定した（37 作品の応募）。その提案のアイデアを参考にまちづくりタウンミーティングを 3 回開催し、具体化に向け市民からの意見を取りまとめた（延べ参加者 107 人）。

その他事業について

	事業名	概要
1		
2		

≪KPI の状況≫

	指標名	基準値 (現状値)	中間 目標値			最終 目標値	累計	中間目標値の実施状況 に関する評価
		H29. 4	H30. 3	H31. 3	H32. 3			
指標 1	体験プログラム参加数 (人)	0	500 (増加分)	2,000 (増加分)	5,000 (増加分)	7,500	既存店舗の体験プログラム準備に時間がかかり、試行実施が遅れたため、4か月間での試行となった。次年度は、体験プログラムをより幅広く周知する方法を考えるとともに、参加者にとって魅力あるプログラムへの磨き上げを行っていききたい。	
	実績値		197	-	-			
指標 2	空き家・空き店舗出店数 (店舗)	0	0 (増加分)	5 (増加分)	10 (増加分)	15	引き続き空き家・空き店舗調査を実施し物件を増加させるとともに、平成 29 年度に構築したマッチングシステムを試験運用することで、事業 PR を行いながら、出店を促進していききたい。	
	実績値		0	-	-			

≪成果≫ ※事業の進捗状況と KPI を踏まえて記載

- ・体験プログラムは、試行開始が遅れ、周知期間が不足していたことなどが原因で目標値を達成できなかったが、期間中月平均 50 人の参加があり、アンケート結果からも参加者の満足度は高かった。
- ・出店希望者を対象に空き家見学会を 7 回開催し、津島市内の空き家に需要があることを把握した。平成 29 年度は、利便性を図るためマッチングシステムを構築したが、平成 30 年度は十分に活用し、出店に繋げる。
- ・まちづくりタウンミーティングにおいて、天王通り周辺のまちづくりについては、沿道と道路とが一体となった歩行者区間を作ることで「にぎわい」を創り出していく共通認識が生まれた。

≪事業の課題≫ ※事業の進捗状況と KPI を踏まえて記載

- ・事業周知を十分に実施できなかったことが、目標値を達成できなかった原因の 1 つと考える。ホームページやチラシ、リーフレットの他に幅広く周知できる方法を検討していききたい。また、プログラム内容によっては、集客力に差があるため、実施店舗とプログラム内容の磨き上げや開催日の見直しを検討する必要がある。
- ・天王通り周辺のまちづくりについては、歩行者優先とした道路にしていくため、地域の方と一緒により具体的な整備方針を固めていききたい。

≪内部評価≫

	評価項目	評価	評価について	総合評価
有効性 (40 点)	KPI 達成への貢献度	B	体験プログラムについては参加者の満足度は高く、周知 PR やプログラム内容の見直しにより成果を達成できる余地はあると思われる。マッチングシステムについては、平成 30 年度に試験運用を開始し、空き家の利活用を促進していききたい。	B
	総合戦略への貢献度	B		
	期待した効果の達成度	C		
効率性 (30 点)	コスト効率	B	プログラムやシステム構築、天王通りの目指すべき方向性など基盤は構築することができた。	
	手段の最適性	B		
	受益者負担は適切か	B		
持続性 (30 点)	必要な体制は整っているか	C	スタッフの増員、また関係団体を含めての体制強化が必要だと思われる。また今後自立運営に向けた収入確保について検討する必要がある。	
	必要な技術はあるか	B		
	必要な財源の見通し	C		

≪今後の展開≫

平成 29 年度事業を検証及び見直しすることで、次年度は計画通りの目標が達成できるよう効率的な事業運営及び事業体制を構築していききたい。

担当部局： 建設産業部 / 担当課： 産業振興課